



富田、阪谷、勝原の三橋完成

富田、阪谷、勝原の三橋完成
—モチまきでにぎわう—

富田、阪谷、勝原の三橋完成
—モチまきでにぎわう—

富田、阪谷、勝原の三橋完成
—モチまきでにぎわう—

発行
福井県大野市役所
(総務課広報係)
電話(代)6-9600
夜間 6-9601
印刷 松浦印刷所



11月の人口の動き

出生	男 28	女 22	計 50
死亡	男 15	女 19	計 34
転入	男 87	女 109	計 196
転出	男 100	女 115	計 215
世帯	9,396		
人口	男 45,949	女 21,819	計 67,768

おもしろいこと
【1面】△富田大橋
など9橋完成△打
波川復旧工事始
まる△池田助役、松
田収入役を三選
市の人事

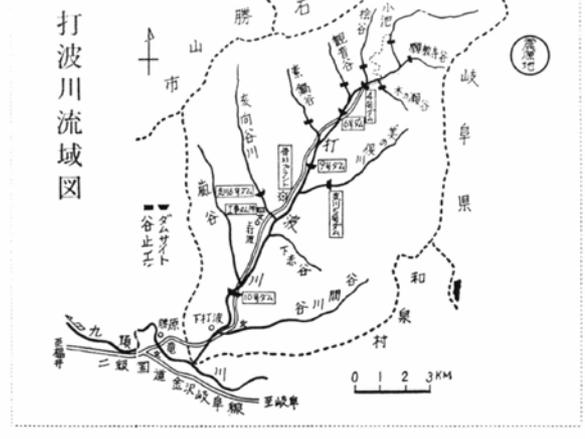
【2面】△第1回市
婦人大会△市安全
協議会発足△市営
造林110ha△雅野
勝原間開通△シイ
タケの不時栽培

総工費31億円 打波川復旧工事はじまる

総工費31億円、打波川流域の全面的な災害復旧工事... 打波川流域の全面的な災害復旧工事は、11月12日打波中学校で、北知事をはじめ関係者約150人が出席して行われました。

これら復旧工事の完成は99年度末の予定で、打波地区では1,000人余りの人夫が工事にあたり、連日ブルドーザの響きもけたまわり、建設ブームで大わらわす。

(写真は堆積した土砂の排除作業、トッパンは工事の行われる流域を示す)



12月4日から各地区で 市長を囲む懇談会

市長を囲んでの市政懇談会が12月4日から各地区ごとに行われます。新年度の予算編成を前に、直接皆さんのご意見、ご要望をお聞きして、住みよい大野市の建設と明らかな市政の推進をはかるためです。

池田助役、松田収入役三選 第58回臨時市議会

任期満了となる助役、収入役の選任について議会の同意を求める第58回臨時市議会は、11月21日から開かれ、11日間にわたって慎重審議が続けられ、12月1日にそれぞれ選任に同意されました。

たいとの諮問に対して専決処分したの
で議会の承認をえました。

人事異動 (12月)

- 林務課長 松田孝信(総務課財政係長)
- 保健衛生課長 羽生敏夫(農場長)
- 農務課長 印牧弥右衛門(教委庶務課長)
- 総務課長 笹島真一(商工課長)
- 退職 安川金弥(教委社会教育課長)
- 教育委員会庶務課長 山村清太郎(林務課長)
- 社会教育課長 野崎四郎(保健衛生課長)
- 市民課課長 沢田武雄(農場庶務係長)
- 税務課第二課課長 出村外志雄(市民課課長)
- 総務課財政係長 小林亮之介(総務課)
- 商工課開発係長 福島実(建設課)
- 建設課都市計画係長 大谷忠一(建設課)
- 農場庶務係長 畑中則夫(福祉事務所)
- 農場指導係長 千田巧(農場)
- 福祉事務所勤務 安川清治(富田出張所)
- 森本利勝(保健衛生課)
- 商工課勤務 川端正毅(市民課)
- 税務課勤務 斎藤たきの(農場)
- 松原定子(市民課)
- 中島 甫(林務課)
- 前田カズエ(農場)
- 市民課勤務 神谷修子(税務課)
- 建設課勤務 指岡勲(五箇出張所)
- 長谷川絹子(総務課)
- 富田出張所勤務 佐藤善夫(福祉事務所)
- 五箇出張所勤務 小島紀男(建設課)

暖かい心を同情袋へ 年末助け合い運動

年の瀬も近づき、寒さは日ごと... 年々お年寄りや子供のために、皆さんの暖かい心をお寄せください。

市民年賀会

市民が一堂に会し、新年を祝い親しみをふかめる恒例の市民年賀会は、明年1月1日午前10時から市役所大会議室で開かれます。

富田、阪谷、勝原の三橋完成
—モチまきでにぎわう—

アホナコッチャ
クリスマス近づく
「青一色になりました」
—七面鳥—
あほなこッチャ

婦人の地位と家庭の向上を 第1回大野市婦人大会開かれる

第1回大野市婦人大会は10月27日午前9時から市役所大会議室で約250人の婦人と関係者が参加して盛大に開かれました。この大会は、うつり変る社会において主婦の果たす役割がどんなに重要であるかを自覚し、みんなで考え研究しあつて婦人の地位を高め、よい家庭を築いていこうと開かれたものです。

午前中は服部正先生(大阪社会事業短大)の「マスコミと主婦の態度」「くらしの中の文化」について講演を聞き、昼休みは各地区のかくし芸や歌で楽しみました。

午後は△マスコミと青少年教育△家庭における主婦の役割△家庭経済と主

婦のあり方△婦人と政治、の4つの分科会にわかれそれぞれのテーマで助言者をまじえ熱心に話し合いが行われ、みんながしつかりと手をつないで話し合い研究し合う場をつくり、私たちの意見を正しく盛り上げて進みましょうと誓つてこの日程を終えました。

(写真は集つた主婦たち)



副会長 野尻源(市議会議員)
" 松田隆太郎(商工会議所会頭)
理事 小林百助(労務署長)ほか12名。
監事 松原良雄(保健所長)ほか2名。

また事業計画は、本年度の残り期間が少ないので、つぎの3点について実施するよう申し合わせました。

- 1市内の大通りに横断幕を設置する。
- 2各事業所などに安全ポスターを配る。
- 3安全確保に関する研究会を行う。

ポスターなど配布 大野市安全協議会が発足

大野市安全協議会設立総会は11月15日午後2時から市役所大会議室で開かれました。市長、市会議員、大野警察署長、同土木出張所長、区長会長、婦人会長ら地元各界の代表90数名が出席して、安全協議会規約、事業計画および収支予算について審議したあと、役員にはつぎの諸氏が選ばれました。

会長 森広治兵衛(市長)

「奥越高原へどうぞ」

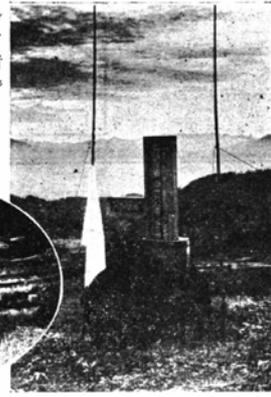
先月号で「ナイターもOK」といわれた六岳師スキー場の完成をご紹介しましたが、そのほか、三角山頂上に奥越高原を一望におさめる展望台や、「奥越高原県立公園」と、あざやかに書かれた標識塔などができました。

11月19日に知事、市長をはじめ各関係者の方々(約50名)があつまつて展望台の落成、標識塔の除幕、スキー場の初点検などを祝つて式典を行いました。

四季おりおり、移りゆく自然の美しさを一望におさめる展望台は、ハイカー達やまた一家団らんのごよきさいで

いの場となり、29個の水銀灯に照らし出された雪原は、あやしいまでにロマンチックなムードをただよわせ、若者たちのシユプールをえがかせることでしよう。

(写真は標識塔と夜間照明)



人権を守る運動

ことしも12月4日から10日までの1週間、「人権週間」として、わたたちの人権を守る運動が全国的にくひろげられます。ことしはこの運動がはじまつてから、ちょうど14回目にあたります

この14年の間に人権尊重の思想は非常ないきおいでゆきわたつてきました。わたしたちは健康で文化的で、幸福な家庭生活を築くためにも、お互いの人権を尊重し、また擁護しなければなりません。

人権が守られたと思われたら今すぐ気軽に法務局または近くの人権擁護委員にご相談ください。(福井地方法務局)

市営造林 110ヘクタール 40年後に4億の財産

将来の市有財産をつくるため、市充足以来毎年市有林の造林をはじめ部落共有林との分収造林をおこなつています。ことしも、県内の市有林4ヘクタールと中秩、上荒井の各共有林3ヘクタールの分収造林を行なうことになり、杉95,000本の植林が終了しました。

これまでに市が植林した面積は110.9ヘクタール、その内54.3ヘクタールが市有林、56ヘクタールは分収造林となつております。これらの植林地は40

年後には4億4千万円余りの市有財産を生むことを約束しています。

植林には補助金 受付は12月20日まで

ことしは天候に恵まれたことなどから、市内の植林は順調に進んでおり、その面積は個人、団体をあわせて約180ヘクタールと推定されています。これから植林の中で10アールあたり250本以上の植林地については、県と市で補助金を出し、この事業を奨励しています。補助金交付申請書の受付期間は12月20日までとなっていますので、ことしすでに植林を終えられた方は、すぐに市林務課へ補助金の交付申請書を出して、検査を受けられるようお願いいたします。

に、水から上げたホダ木を野外に4~5日おいて温室内に取り込む刺激法もおこなわれています。

3. その後の手当て

④ ホダ木をひろげる
一斉に出そろつた芽が、小指の頭ぐらいの大きさになつたとき、ホダ木を温室内に広げます。大きくなり過ぎるとカサの割りに納が大きくなり品質が低下します。

⑤ 温度と湿度

温室内の温度は日中は18度前後、夜間は5度ぐらいまでに調節します。しいたけの成長には、多量の水分が必要で、温室内の湿度は85~90%、ホダ木の水分が40~25%を保つよう注意してください。湿度が高すぎると品質が落ちます。

(写真はシイタケ栽培の講習)

④ 乾燥させる

種ゴマ(駒)を打ち込んでから二夏以上経過した完熟ホダ木を約1か月間雨に当たらないよう屋根の下に取り込み一方の木口を上間につけ、棒積みか、井ヶタに積んで杉皮かトタンで雨おおいをして乾燥します。

⑤ 水に浸す

水に浸す期間はホダ木の完熟程度、太さ、水温などで異なるが、9~5日間で吸水量は一定となります。水は冷たい方がよく、酸度がやや強いと発芽が良好です。ホダ木を浸す場合、全部水面に沈むよう注意してください。

⑥ 芽切り

⑥が終つたホダ木は、温室の一隅に棒積みで寄せ、周囲をぬれむしろで包み19~17度の温度に保つと、9~5日間で発芽します。(温度には多少の変化があつた方がよい) 最近芽切りの代り

できる促成栽培の方法について簡単に記載します。

1. まず温室が必要です。

温室は、風当たりの少ない南か南東に面した暖かい場所、水の便、排水のよいところを選んでください。構造は室内温度が常に19~18度であるよう工夫することが大切です。大きさは最大16平方メートル程度で、高さは2メートル以下がよく、半地下とすればなおよい、太陽熱を有効に利用できるように、南側の屋根は90度位の傾斜で、不透明なビニールかポリエチレン膜りとしてください。温室には高い費用をかけず、使用するホダ木に応じて、むね数を増やすことが望ましい。ホダ木は並べ方によつて異なりますが、9.9平方メートル当たり50~100本収容できます。

2. ホダ木を準備する

各家庭に簡易消火器を

毎年冬になると火事の発生率が高まります。消防署ではつぎの場合、プロパン、石油、油脂、アルコール、電気火災などに効力のある家庭用粉末消火剤「ホーム」をお世話しています。購入ご希望の方は12月20日までに消防署へ申し込んでください。価格は300グラム入、用器共に320円です。この消火剤は乾燥した所に保管すれば5年位は有効です。

みんなで育てよう 六間のアカシヤ

11月12日六間通りのグリーンベルトに市商工課員の手でトゲナシアカシヤの苗木40本が植えられました。

六間のアカシヤ並木は市充足当時多くの費用を投じて植付けたものですがその後、心ない人のために折られたり傷つけられ、毎年多くが枯れ、美しい並木が復活けとなつたので、こんど補植したものです。

植えたアカシヤがだれにも傷つけられることなく育ち、やがておい渡る並木が私たちの心をなぐさめ、いいの場となるようみんなで育てたいものです。(写真はアカシヤの苗木を植植する市商工課員)



唯野一勝原間開通 12月15日から

長らく不通となつていた越美北線の唯野一勝原間はいよいよ12月15日から開通の予定です。

昨年の第2室戸台風で九頭竜第1鉄橋の右岸62メートルが橋脚もろとも失し、その復旧が急がれていました。このほど工費2千380万円、流心部を鉄骨トラスとして、完全復旧されたものです。

(写真は復旧なつた第1鉄橋)

固定資産の評価 換えについて

こんど自治省の指示に基づき固定資産(田、畑、宅地、山林、家屋)の評価を昭和39年迄に全般的に換えることになりました。評価換えをする理由は

- 1 現在評価している賃貸価格の倍率方式では、年々推移している土地の現況と著しい差異が認められ、評価額が適正でない。
 - 2 同一の資産を国、県、市等が異なる評価をして課税の基礎としている。
 - 3 現行の評価額は法に示されている適正な時価としては甚だしい差があるというものです。
- このため関係地区に調査員が出向いた折はとくに協力ください。

赤でんわ(公衆電話) のご利用について

市内の公衆電話をもつと広く誰にでも気軽に使つていただくため、次のことからにご協力ください。
1 赤でんわによる「呼び出し」は時間がかかつて、他の利用者に迷惑ですから、できないことになっていきます。また、通話はできるだけ要領よく短かく済ましてください。
2 赤でんわからの電報発信もできますからご利用ください。
(大野公衆でんわの会より)

年末の郵便物はお早く

年末になると平常の数倍に達する郵便物が殺到するので、皆さんにご迷惑のかかることのないよう、つぎのことにご協力をお願いします。
○小包郵便物は15日、年賀ハガキは22日までにお差し出してください。
○会社などで年始に休業するところは希望により引日に配達します。
○「封書」は、ことしから年賀特別扱いをしないので、差し出し時期に注意してください。
(郵便局より)



季節はずれの
シイタケ栽培

シイタケの需要は年々多くなる傾向で、栽培技術も一段と向上して、自然の発生期以外に必要な時期に出荷できる不熟栽培が盛んにおこなわれています。昨年市内では西大月、中保で共同栽培がおこなわれ、生で400グラム100円という高値で売られ、多くの収入を得ております。

市ではこれを特産として年中広く市場に出荷できるよう、とくに交通の便利な市街地周辺を中心に不熟栽培を奨励しております。そこで冬期間に出荷